

Platform Specialty Products Corporation (プラットフォーム社、米国) [NYSE: PAH] が第3四半期の調整後 EBITDA を事前公表しました

- 売上高概算1億9500万~1億9700万ドル(約208億9400万~211億900万円)
- 調整後 EBITDA(金利、税金、償却前利益) 概算5100万~5200万ドル(約54億6500万~55億7200万円)、過去最高を記録

10月20日米国・マイアミ(GLOBE NEWSWIRE) -- グローバル展開をしている化学薬品会社、Platform Specialty Products Corporation (NYSE:PAH) (プラットフォーム社)は今日、第3四半期の調整後 EBITDA を事前公表しました。

2014年度第3四半期(7月1日~9月30日):

- 2013年度同時期総売上高1億8840万ドル(約201億8700万円)に対し1億9500万~1億9700万ドル(約208億9400万~211億900万円)の見込み
- 2013年度同時期 EBITDA 4760万ドル(約51億円)に対し5100万~5200万ドル(約54億6500万~55億7200万円)の見込みで、プラットフォーム社の四半期過去最高を記録

2014年度第1~3四半期(1月1日~9月30日):

- 2013年度同時期総売上高5億6000万ドル(約600億円)に対し5億6800万~5億7000万ドル(約608億6100万~610億7600万円)の見込み
- 2013年度同時期 EBITDA 1億3560万ドル(約145億3000万円)に対し1億4500万~4700万ドル(約155億3700万~157億5100万円)の見込みで、プラットフォーム社の第1~3四半期過去最高を記録

ダニエル・H・リーバー、プラットフォーム社CEOは「プラットフォーム社2014年度のこれまでの財務内容を大変誇りに感じています。現在の組織を立ち上げて以来、大きな成果を上げて参りました。これは現場のマネジメント力が優秀であることを物語っており、彼らを称賛したいと思います」とコメントしました。

フランク・J・モンテロー、プラットフォーム社CFOはさらに、「マクダーミッド社の四半期および年初からこれまでの実績も好調に転じております。成長戦略を実現させるために必要な事業基盤の整備、能力・人材の増強をサポートすることで、2014年度の収益見込みは大きく増加が期待できます。今後の買収事業を検討し確立し続けるため、事務管理部門の適切な活用をしていきたい」と述べました。

WEB/ダイヤルイン会議のお知らせ

プラットフォーム社は本件についてWEB/ダイヤルイン会議を行います。日時:2014年10月20日(月)東部時間 AM8:00、参加者は、CEO、ダニエル・H・リーバー、CFO、フランク・J・モンテロー、アリスタ・ライフサイエンス社社長兼CEO、ウェイン・ヒューイットの各氏等となります。

この会議を聴講される方は、電話(米国)(855)357-3116、(米国外)+1(484)365-2867、conference ID: 23753003 とお伝えください。会議の様子はリアルタイムにインターネット上でご覧になれます。

www.platformspecialtyproducts.com 関連資料のダウンロードも可能です。このサイトは終了後3週間アクセス可能となります。

さらに、以前公表したとおり、プラットフォーム社は2014年度第3四半期の決算短信を2014年11月5日(水)市場開始前に発表します。同日東部時間 AM9:00、WEB/ダイヤルイン会議を行います。参加者は、CEO、ダニエル・H・リーバー、CFO、フランク・J・モンテローの各氏等となります。会議の様子はリアルタイムにインターネット上でご覧になれます。www.platformspecialtyproducts.com このサイトは終了後3週間アクセス可能となります。

この会議を聴講される方は、電話(米国) (855) 357-3116、(米国外)+1 (484) 365-2867、conference ID: 17590151 とお伝えください。会議の様子はリアルタイムにインターネット上でご覧になれます。

プラットフォーム社について

プラットフォーム社は高い技術力を誇る特殊化学品製造・販売・サポートのグローバルな企業集団です。広範な化学薬品分野において常に独自の配合・プロセスを開発し、その製品は、農業関連、エレクトロニクス関連、金属およびプラスチックの表面処理、プリンティング事業、そしてオフショア油田掘削事業の多岐に渡ります。詳しくはこちらのホームページをご覧ください。
www.platformspecialtyproducts.com

今後の見通しについて

本プレスリリースは Private Securities Litigation Reform Act of 1995 (1995年施行の民間有価証券訴訟改革法)に基づいた免責事項を適用する権利を有し、連邦証券法でいうところの「今後の見通し」という記述について、プラットフォーム社の第3四半期財務成績、総売上高、調整後EBITDA、および、同社製品の市場および需要、買収、分割、再編その他の影響、予定された買収の完結能力、将来の買収から予測された相乗効果を含みます。これらの予測は本質的に困難ではありますが、妥当とみなされる経営陣の見通しと予定されている計画、経営状態に基づきます。実際の結果は予測と異なる場合があります。関連する要因の詳細はプラットフォーム社の四季報、証券取引所への定期報告をご参照ください。年次報告書 Form 10-K に 2013年12月31日までの会計年度、および Form 10-Q に 2014年6月30日までの四半期の報告書がございますので「リスク要因」の項でご覧になれます。プラットフォーム社の見通しは、新しい事実、将来的な計画その他に起因するか否かにかかわらず、都度更新の義務はありません。

計算書

プラットフォーム社の純利益と調整後 EBITDA(金利、税金、償却前利益) 2014 年度第 3 四半期および第 1~3 四半期

(単位: 百万ドル)	前年度 Q3.2013	今年度 Q3.2014	前年度 Q1-3.2013	今年度 Q1-3.2014
純利益	14.5	10.9-11.9	23.9	2.5-4.5
純利益(損失)調整				
法人所得税支払(給付)	6.9	(1.6)	20.9	(3.5)
支払利息	16.1	8.0	40.7	23.4
減価償却費	9.7	18.9	40.7	23.4
外貨建負債による未現実(利益)損失	-	-	(1.1)	-
為替予約による未現実損失	-	2.6	-	2.6
リストラクチャリング関連費用	0.2	0.6	1.9	1.0
在庫上の製造者利益(購買会計法による)	-	-	-	12.0
偶発的対価への現金以外の公正価格調整	-	2.3	-	26.1
買収費用	-	8.2	-	18.8
負債償却	-	-	18.8	-
その他支出(収入)	0.2	1.6	1.0	4.9
EBITDA(調整後利益)	47.6	51.5-52.5	135.6	145.0-147.0

<*1> Q3.2014 に \$14.3、Q3.2013 に \$6.7、Q1-3.2014 に \$43.6、Q1-3.2013 に \$20.2 の償却費用を含み、修正後の利益に再計算されます。

<*2> 前年度の外貨建負債による非現金収入をその他利益にて調整

<*3> ケムチュラ社およびアグリファー社買収にかかわる為替予約による未実現損失の戻入調整

<*4> 2013 年の営業経費よりリストラクチャリング費用として \$1.9 を計上

<*5> マクダーミッド社買収にかかわる購買会計法による在庫上の製造者利益を戻入調整

<*6> マクダーミッド社買収にかかわる株価目標価格から公正価格への調整

<*7> ケムチュラ社およびアグリファー社買収にかかわる取引経費の戻入調整

<*8> 前年度資本再構成にかかわる負債償却費用戻入調整

<*9> マクダーミッド社買収にかかわる予測不可能な金利変動に起因する売上高逆転に対する 2014 年度事前調整。2013 年についてはその他臨時支出調整

連絡先: 文書/投資関係: フランク・J・モンテロー

Frank J. Monteiro

Platform Specialty Products Corporation- CFO

+1-203-575-5850

メディア連絡先: リズ・コーエン / ケリー・ガウリック

Liz Cohen

Weber Shandwick

+1-212-445-8044

Kelly Gawlik

Weber Shandwick

+1-212-445-8368